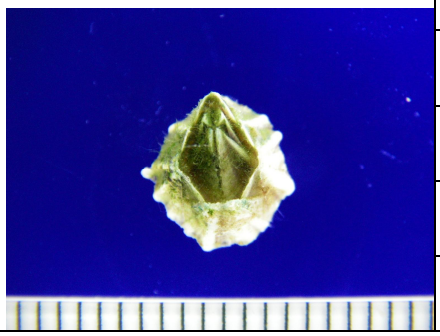
甲殻類

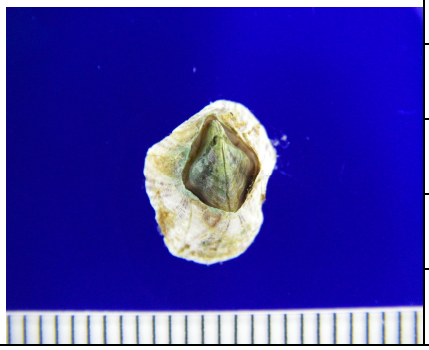
＊外来種の記載があります

No 1



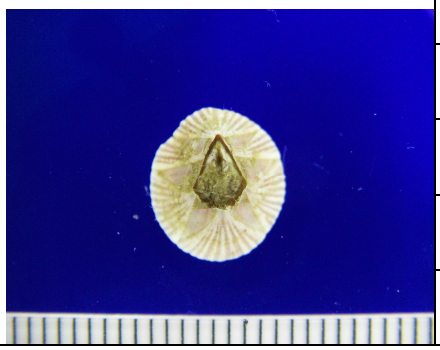
生物名	シロスジフジツボ
分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	殻の表面に隆起した白いあばらがあるのが特徴です。
備考	

No 2



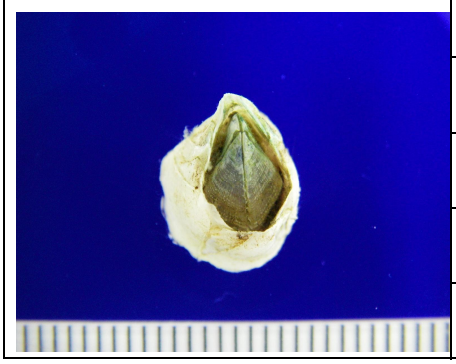
生物名	タテジマフジツボ
分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
発見頻度	★★★★☆
職員のコメント	名前のとおり、外殻の表面に紫色がかった縦縞模様を持つフジツボです。
備考	外来種

No 3



生物名	サンカクフジツボ
分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	殻口が三角形のフジツボです。
備考	

No 4



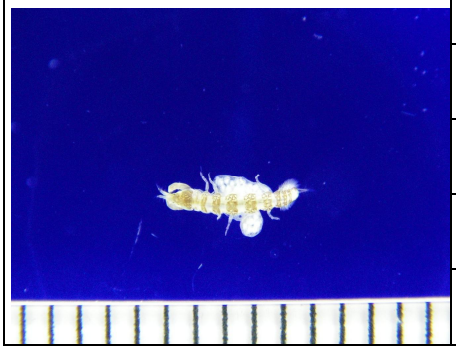
生物名	アメリカフジツボ
分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
発見頻度	★★★★★
職員のコメント	低塩分に耐える内湾性のフジツボです。船底にくっついて日本に運ばれてきました。
備考	外来種

No　　5



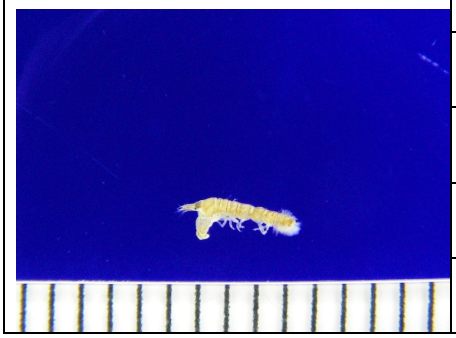
生物名	ヨーロッパフジツボ
分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	アメリカフジツボとよく似たフジツボですが、フタの色が白いことで見分けられます。
備考	外来種

No　　6



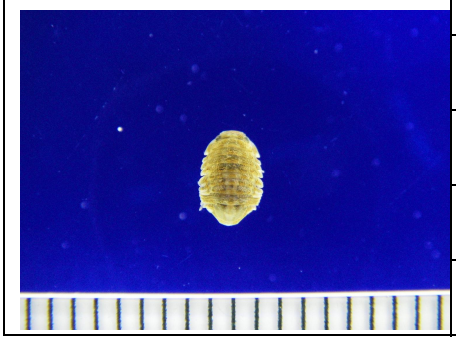
生物名	ゼウクソ属
分類	節足動物門軟甲綱 タナイス目タナイス科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	非常に小さいので、肉眼ではなかなか見つけることができないと思います。
備考	

No　　7



生物名	キスイタナイス
分類	節足動物門軟甲綱 タナイス目タナイス科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	非常に小さい生物です。低塩分のところで見つかります。
備考	

No　　8



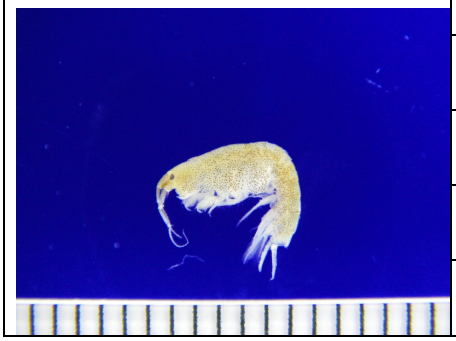
生物名	イソコツブムシ属
分類	節足動物門軟甲綱 等脚目コツブムシ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	体長5-8mmほどの非常に小さい甲殻類です。
備考	

No　　9



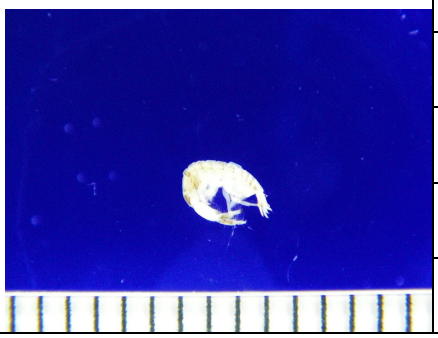
生物名	シリケンウミセミ
分類	節足動物門軟甲綱 等脚目コツブムシ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	名前のとおり、尾に剣のような突起を持ちます。
備考	

No　　10



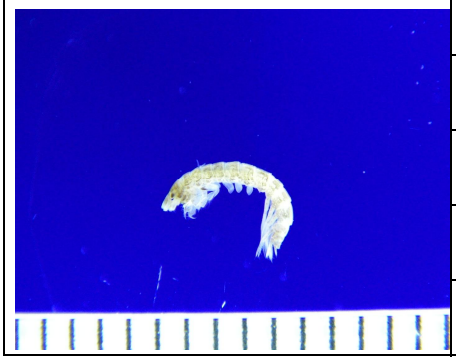
生物名	ヒゲナガヨコエビ属
分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ヒゲナガヨコエビ科
発見頻度	★★★☆☆
職員のコメント	砂をふるいにかけると見かけることがあります。
備考	

No　　11



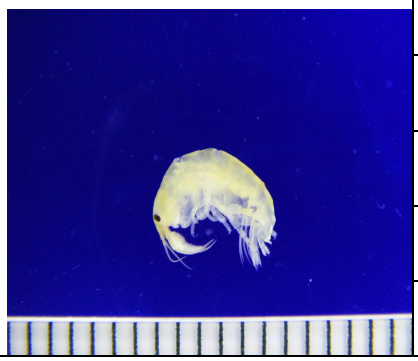
生物名	ドロクダムシ属
分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ドロクダムシ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	ヨコエビの仲間で、やや背腹に扁平な細い体をしています。棲管を作ってその中にすんでいます。
備考	

No　　12



生物名	ニッポンドロソコエビ
分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ユンボソコエビ科
発見頻度	★★★☆☆
職員のコメント	やや背腹に扁平な細い体をしています。雄の第1脚が大きいのが特徴です。汽水にすみます。
備考	

No　　13



生物名	フサゲモクズ
分類	節足動物門軟甲綱 端脚目モクズヨコエビ科
発見頻度	★★★☆☆
職員のコメント	海藻の根もとや石の下、割れ目に住んでいます。第2触角に毛が密生しています。
備考	

No　　14



生物名	シワオウギガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目オウギガニ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	甲がでこぼこしていて、つかまえるとじっと動かなくなることがあります。 カキ床や石の下などでよく見られます。
備考	

No　　15



生物名	ケフサイソガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目モクズガニ科
発見頻度	★★★☆☆
職員のコメント	雄はハサミに毛があります。 白いおなかに黒い点が特徴です。
備考	

No　　16



生物名	マメコブシガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目コブシガニ科
発見頻度	★★★★★
職員のコメント	甲が丸く、中央が盛り上がっています。縦歩きをします。
備考	

No　17



生物名	ユビナガホンヤドカリ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ホンヤドカリ科
発見頻度	★★★★★
職員のコメント	干潟2段目の板付近でよく見かけます。糸のような触角、大きい右のハサミが特徴です。
備考	

No　18



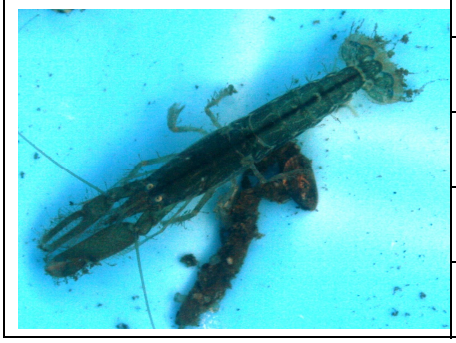
生物名	イシガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	挟む力が強くハサミが鋭いので危ないです。
備考	

No　19



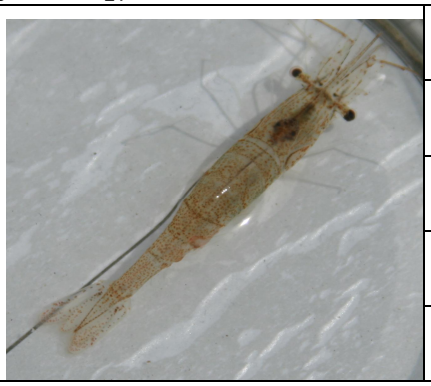
生物名	ニホンスナモグリ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目スナモグリ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	エビのように見えますがヤドカリの仲間です。透き通っていてきれいです。火山口のような巣穴を作ります。
備考	

No　20



生物名	テッポウエビ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目テッポウエビ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	左右で形がちがうハサミのうち、大きい方のハサミでパチン、パチンと音をたてます。
備考	

No　　21



生物名	スジエビモドキ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目テナガエビ科
発見頻度	★★★★☆
職員のコメント	スジエビに似たエビです。
備考	

No　　22



生物名	ベンケイガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ベンケイガニ科
発見頻度	★★★★☆
職員のコメント	全身が赤く甲の四角いカニで、干潟2段目でよく見かけます。
備考	

No　　23



生物名	ウシエビ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目クルマエビ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	別名ブラックタイガーです。
備考	

No　　24



生物名	ガザミ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	大型のワタリガニです。成長すると深いところで生活するようになるので、干潟にいるのは小さな個体です。
備考	

No　　25



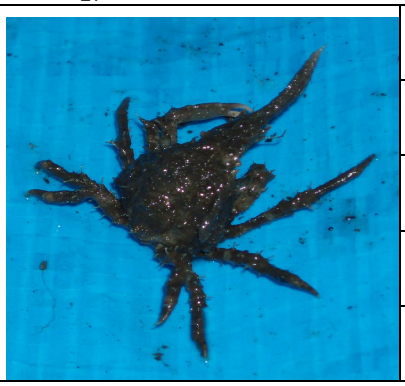
生物名	コメツキガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目コメツキガニ科
発見頻度	★★★☆☆
職員のコメント	巣穴の周りには泥団子がよくみられます。これは食事をとって残った砂です。
備考	

No　　26



生物名	チチュウカイミドリガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	甲が緑色をしています。ガザミ科のカニは最後の足がオール状になっているのが特徴ですが、このカニにはありません。
備考	外来種

No　　27



生物名	イッカククモガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目イッカククモガニ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	角が一本あるクモみたいな形をしたカニです。
備考	外来種

No　　28



生物名	タイワンガザミ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	名前に「台湾」とありますが、台湾に限らず暖かい熱帯域で生活するカニです。
備考	

No　29



生物名	コブヨコバサミ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ヤドカリ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	砂や泥のたまった海底にすんでいます。 ハサミは左右同じ大きさです。
備考	

No　30



生物名	ハクライオウギガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目オウギガニ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	もともとはタヒチやハワイ、ニュージーランドに生息する小さなカニです。
備考	外来種

No　31



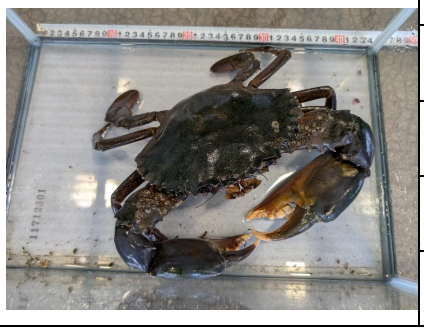
生物名	スナガニ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目スナガニ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	潮彩の渚の手前左側で潮が引くと巣穴と共に見られます。近づくとすぐに巣穴にもぐってしまいます。
備考	

No　32



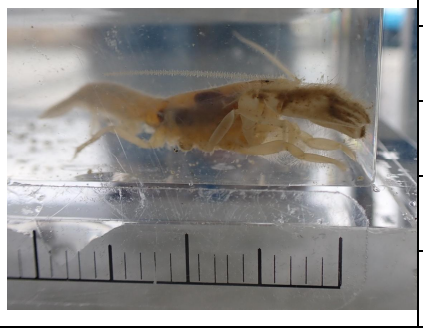
生物名	ケアシホンヤドカリ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ホンヤドカリ科
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	敷地内実験場で発見されました。第一触角、第二触覚は赤くよく目立ちます。
備考	

No　　33



生物名	アミメノコギリガザミ
分類	節足動物門甲殻上綱軟甲綱(エビ綱)真軟亜綱(エビ亜綱) エビ上目十脚目短尾下目ガザミ上科ワタリガニ(ガザミ)科トゲノコギリガザミ属
発見頻度	★☆☆☆☆
職員のコメント	内湾の泥地に生息します。挟む力が800kgあるとも言われ、とても危険です。
備考	本来は南方の種ですが、地球温暖化によって分布が拡大している可能性があるそうです。

No　　34



生物名	ハサミシャコエビ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ハサミシャコエビ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	砂泥質の干潟に巣穴を掘ります。人工干潟を掘ってみると見つかることがあります。
備考	

No　　35



生物名	ﾖｺﾔｱﾅｼﾞｬｺ
分類	節足動物門軟甲綱 十脚目アナジャコ科
発見頻度	★★☆☆☆
職員のコメント	砂泥質の干潟に巣穴を掘ります。ハサミシャコエビとよく似ていますが、ハサミの形状で見分けることができます。
備考	